

議第97号

上告受理の申立てについて

上告受理の申立てを次のように行う。

平成20年9月4日提出

京都市長 門川大作

--	--

相手方

<p>事件の種類</p>	<p>住民訴訟に係る弁護士報酬の支払の請求</p>
<p>事件の内容</p>	<p>相手方は、地方自治法等の一部を改正する法律（平成14年法律第4号）による改正前の地方自治法第242条の2第1項第4号の規定に基づき住民訴訟を提起し、一部勝訴したため、同条第7項の規定により、本市に対し、当該住民訴訟に係る弁護士報酬相当額としての167,824,678円の請求額の内金としての100,000,000円及び遅延損害金の支払を求める訴えを提起した。これに対し、本市は、当該住民訴訟に係る弁護士報酬相当額は、1,903,650円を上回らないと主張した。</p> <p>第1審である京都地方裁判所は、相手方の請求の一部を認容し、本市に対し、10,000,000円及び遅延損害金の支払を命じたため、本市は、これを不服として控訴した。また、相手方は、当該判決を変更して20,000,000円及び遅延損害金を支払うよう求めて、附帯控訴をした。</p>

これについて、控訴審である大阪高等裁判所は、本市の請求及び相手方の附帯控訴をいずれも棄却した。

そこで、控訴審判決のうち本市の控訴を棄却する部分並びに第1審判決のうち本市に対し1,903,650円及びその部分に係る遅延損害金を超える額の支払を求める部分の破棄を求めるため、最高裁判所に上告受理の申立てをしようとするものである。

#### 提案理由

上告受理の申立てを行う必要があるので提案する。